

2022年11月17日 全8頁

## Indicators Update

# 2022年10月貿易統計

対中輸出の減少と輸入金額の増加により貿易赤字が拡大

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

### [要約]

- 2022年10月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+25.3%と20カ月連続で増加した。ただし、輸出の実勢を示す輸出数量（大和総研による季節調整値）は対中輸出の減少や自動車輸出の急回復の一服により前月比で非常に緩やかな増加にとどまった。他方、輸入金額は前年比+53.5%と前月から伸び率が急上昇した。これを受けて貿易収支は▲2兆1,623億円（季節調整値では▲2兆2,992億円）となり、赤字は高止まりしている。
- 10月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+0.5%と、2カ月連続で小幅に増加した。このところ急回復していた自動車輸出が一服した。地域別に見ると、米国向け（同+0.1%）が増加した一方、EU向け（同▲0.7%）やアジア向け（同▲2.5%）は減少に転じた。アジア向けは、中国向け（同▲10.1%）の急減による影響が大きかった。
- 先行きの輸出数量は非常に緩やかな増加基調を辿るとみている。供給制約の緩和や中国経済の正常化の進展、円安が押し上げ要因となろう。他方で米欧を中心に外部環境は悪化しており、とりわけ欧州向けは景気後退によって減少基調に転じるとみている。

## 【貿易金額】輸入金額の増加ペースが加速に転じ貿易赤字は高止まり

2022年10月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+25.3%と20カ月連続で増加した（**図表1**）。季節調整値で見ても前月比+2.2%と2カ月連続で増加した。内訳を見ると、輸出価格が押し上げ要因となった。輸出の実勢を示す輸出数量（大和総研による季節調整値）は、対中輸出の減少に加えて自動車輸出の急回復が一服したことで非常に緩やかな増加にとどまった（**図表2左**）。

輸入金額は前年比+53.5%と、前月から伸び率が急上昇した。輸入金額は頭打ちの兆しが見られていたが、国内需要の堅調さを背景に再加速している可能性がある。品目別では、原油及び粗油や液化天然ガス、石炭などが増加した。季節調整値では前月比+4.2%と2カ月ぶりに増加した。輸入金額の変動を数量・価格に要因分解すると、輸入価格（大和総研による季節調整値）は同+0.3%と低い伸び率にとどまったが、輸入数量が同+3.8%となり輸入金額を大きく押し上げた（**図表2右**）。輸入価格の上昇は需要を押し下げるため、輸入価格と輸入数量は変動の向きが逆になることが多いが、10月の輸入数量は前月の反動もあって増加方向に振れたとみられる。

これを受け、貿易収支は▲2兆1,623億円と15カ月連続の赤字となった。季節調整値では▲2兆2,992億円となり、赤字は高止まりしている（**図表3**）。

図表1：貿易統計の概況

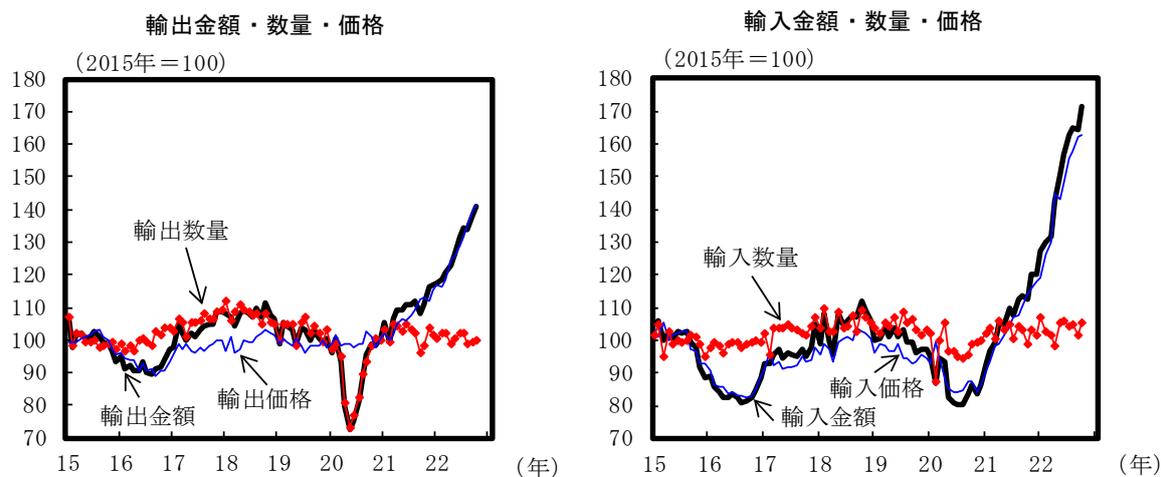
		2022年								
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
原系列 前年比 %	輸出金額	19.1	14.7	12.5	15.8	19.3	19.0	22.0	28.9	25.3
	コンセンサス									29.3
	DIRエコノミスト予想									27.4
	輸入金額	34.0	31.3	28.3	48.8	46.0	47.3	49.8	45.7	53.5
	輸出数量	2.7	▲1.4	▲4.4	▲3.5	▲1.5	▲1.9	▲1.1	3.8	▲0.3
	価格	15.9	16.3	17.7	20.0	21.1	21.3	23.4	24.2	25.8
	輸入数量	▲0.9	▲0.1	▲9.0	4.7	1.3	2.2	2.7	▲1.7	5.6
価格	35.1	31.4	40.9	42.2	44.1	44.0	45.8	48.2	45.3	
	貿易収支(億円)	▲6,772	▲4,240	▲8,538	▲23,906	▲14,042	▲14,449	▲28,248	▲20,943	▲21,623
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	1.0	1.8	1.7	2.7	4.1	2.3	▲0.6	3.4	2.2
	数量	1.6	0.0	▲3.0	1.7	1.5	0.3	▲3.2	0.2	0.5
	価格	▲0.6	1.8	4.9	0.9	2.6	2.0	2.7	3.2	1.6
	輸入金額	2.1	1.5	8.0	6.0	3.8	3.7	1.6	▲0.4	4.2
	数量	▲3.8	▲1.4	▲2.9	6.9	0.5	▲1.2	0.1	▲3.1	3.8
	価格	6.2	2.9	11.2	▲0.9	3.3	5.0	1.5	2.8	0.3
		貿易収支(億円)	▲10,092	▲9,962	▲15,578	▲19,060	▲19,539	▲21,480	▲23,634	▲20,368
	税関長公示レート	114.84	115.86	122.84	129.17	130.35	136.05	135.08	139.81	145.09

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

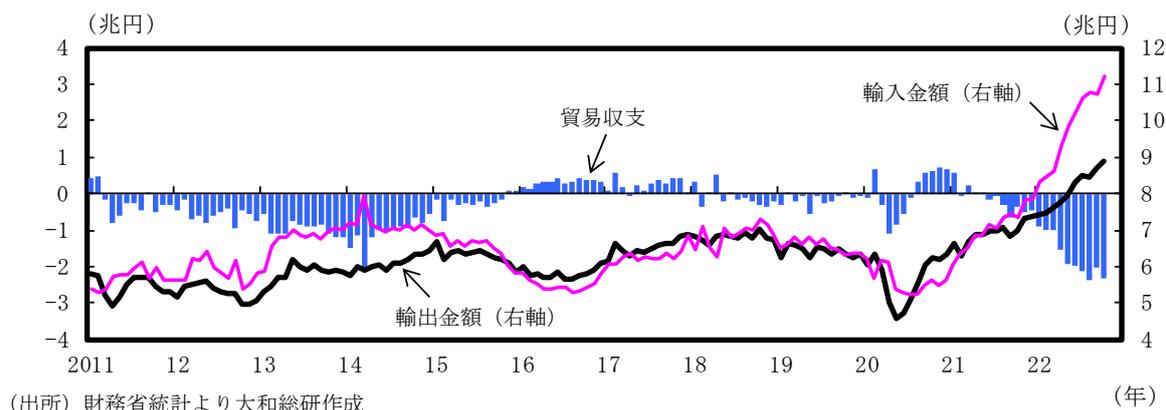
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



## 【輸出数量】自動車輸出の急回復が一服し全体は2カ月連続の小幅増

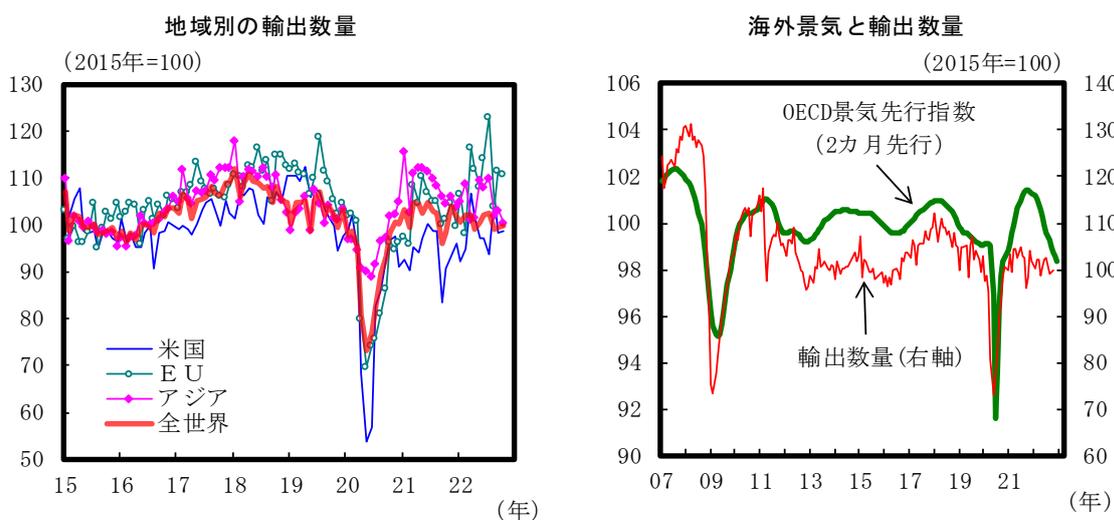
10月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+0.5%と、2カ月連続で小幅に増加した。このところ急回復していた自動車輸出が一服した。地域別に見ると、米国向け（同+0.1%）が増加した一方、EU向け（同▲0.7%）やアジア向け（同▲2.5%）は減少に転じた。

米国向けは2カ月ぶりに増加した。前月とは対照的に、自動車の部分品や原動機といった自動車部品が増加した一方でこのところ急回復していた自動車輸出は一服した。自動車は水準で見ればコロナショック前（2019年平均）の8割程度で推移している。また、医薬品が全体を押し下げた。その他の品目では大きな動きは見られなかった。

EU向けは2カ月ぶりに減少した。米国と同様に自動車輸出が全体を押し下げたが、その他の幅広い品目も小幅に減少しており、欧州での景気減速の影響が表れつつあるとみられる。他方、自動車の部分品やバス・トラックが増加し全体を下支えした。なお、2022年前半にかけて急増していた半導体等製造装置は足元で落ち着いており、半導体不足に対する急ピッチの対応が一段落したとみられる。

アジア向けは2カ月ぶりに減少した。中国向け（前月比▲10.1%）が予想外の急減となったことが主因だ。10月前半から中国で新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し始め、経済活動が抑制されていたことが背景にあるとみられる。内訳を見ると、中国向けの自動車大幅に減少し全体を押し下げた。中国の10月の新車販売台数は前年比+6.9%と、9月の同+25.7%から急減速しており（中国汽车工业协会）、行動制限が中国での自動車販売を鈍らせている可能性がある。他方、その他のアジア向けの半導体等製造装置や鉄鋼は堅調に推移しており、全体を下支えする要因となった。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD加盟国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

## 【見通し】引き続き供給制約の緩和が押し上げ要因に

先行きの輸出数量は非常に緩やかな増加基調を辿るとみている。供給制約の緩和や中国経済の正常化の進展が押し上げ要因となろう。供給制約の緩和に伴い、円安が輸出数量を増加させる効果も発現しやすくなるとみている。他方で米欧を中心に外部環境は悪化しており、とりわけ欧州向けは景気後退によって減少基調に転じる可能性が高い。

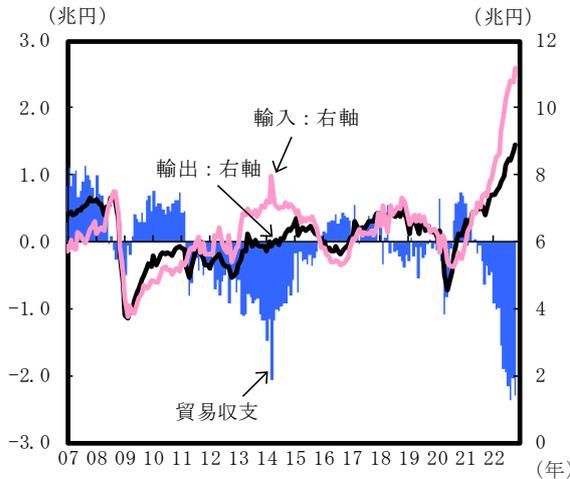
輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは横ばい圏で推移するとみている。米国の2022年7-9月期の実質GDP成長率は前期比年率+2.6%と、個人消費の底堅さに支えられて3四半期ぶりのプラスに転じた（米商務省）。足元でも10月の小売売上高が前月比+1.3%と大幅に増加している（同）。半面、財需要の堅調さは先行きのインフレを助長しFRBによる利上げを誘発する要因となる。一段と利上げが進むことで消費や投資への下押し圧力が強まり、結果として日本からの輸出が上振れする余地は相当に小さくなるとみている。

欧州向けは緩やかな減少基調に転じるとみている。ユーロ圏の2022年7-9月期の実質GDP成長率は前期比年率+0.7%と急減速した（欧州委員会）。10月のユーロ圏消費者物価指数（速報値）が前年比+10.7%と高水準にある中（同）、先行きではECBによる大幅利上げの継続が低成長やマイナス成長を招くと予想される。さらに金利上昇による借り入れコストの増加が企業の資本財需要を減退させることで、欧州向けの柱である一般機械の輸出が減少しやすくなるだろう。

中国向けは緩やかな回復基調に向かうとみている。中国経済は回復が進んでいるが、10月の共産党大会では「ゼロコロナ」政策が維持された。厳格な感染対策の下では本格的な景気回復を見込みにくいことから、日本からの輸出の増加ペースも緩やかなものにとどまるだろう。他方、足元では渡航者や濃厚接触者の隔離期間が短縮された。2023年3月の首相交代時に政策が転換されるとの見方もあり、「ゼロコロナ」政策の緩和に伴って対中輸出の増加が加速する可能性がある。

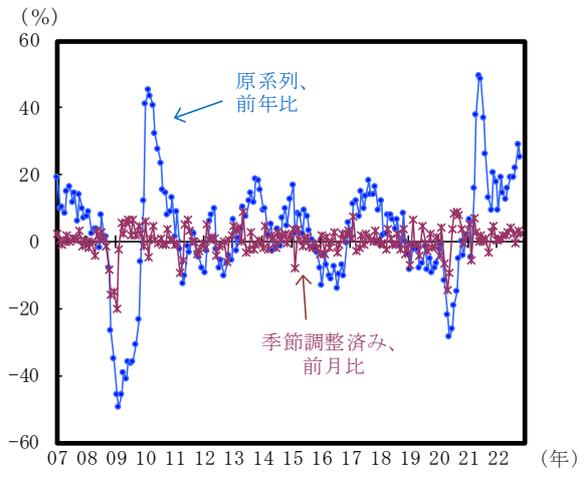
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

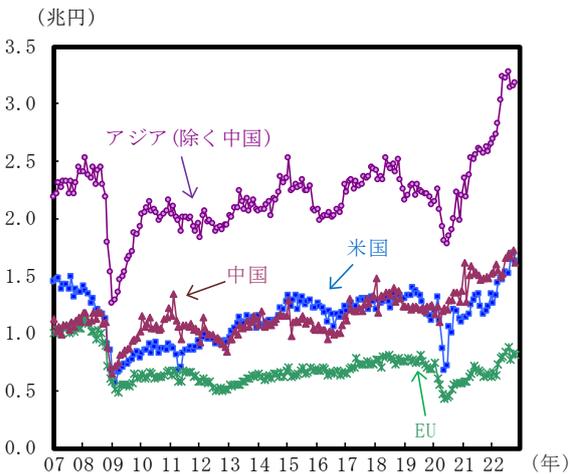


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

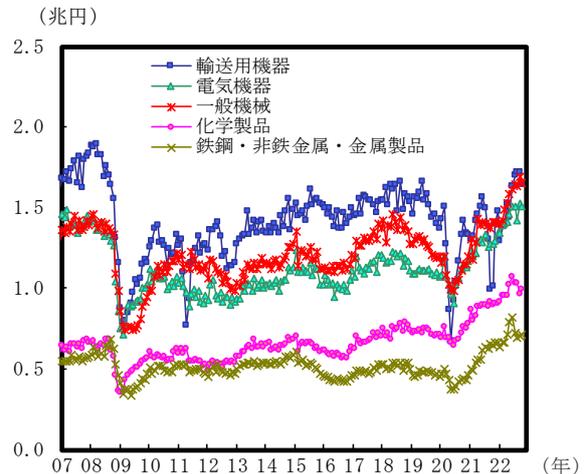


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

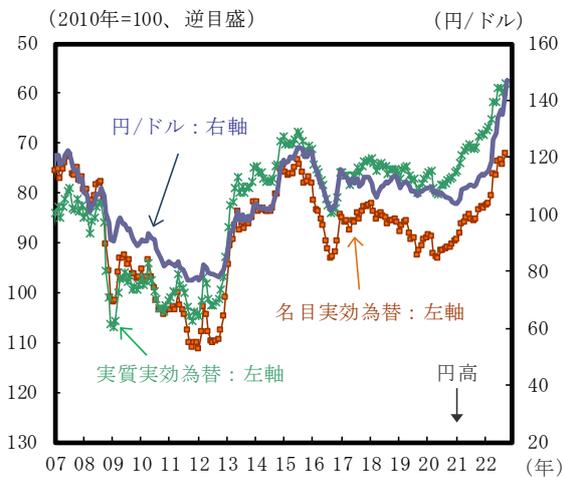


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）

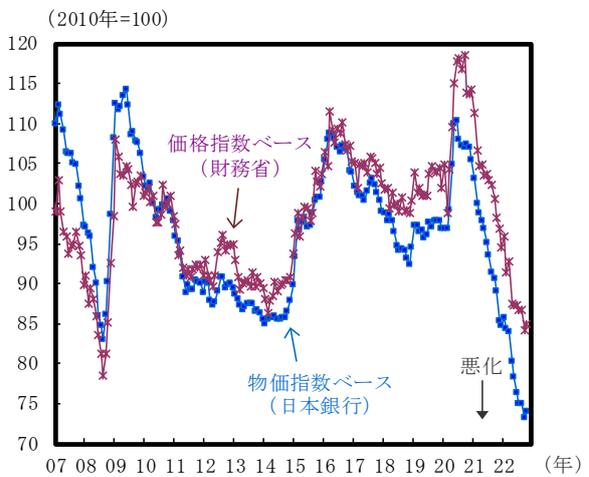


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	15.8	19.3	19.0	22.0	28.9	25.3	100.0	25.3
食料品	18.2	25.8	21.6	15.2	14.9	16.6	1.2	0.2
原料品	20.9	9.0	17.8	7.7	14.3	15.3	1.5	0.3
鉱物性燃料	404.8	341.5	142.3	171.0	86.7	76.3	2.2	1.2
化学製品	15.5	19.6	15.9	16.3	4.9	9.9	11.5	1.3
原料別製品	35.0	31.0	16.3	12.3	10.0	12.4	11.4	1.6
鉄鋼	60.2	44.2	13.0	11.2	4.5	7.3	4.3	0.4
非鉄金属	30.3	30.7	23.2	12.4	12.1	18.1	2.4	0.5
金属製品	4.4	5.0	4.6	4.3	10.1	9.5	1.4	0.2
一般機械	13.3	14.3	17.3	17.0	23.8	17.6	19.2	3.6
電気機器	11.1	17.1	13.8	13.0	19.6	17.9	18.2	3.5
半導体等電子部品	21.1	29.6	20.8	8.9	20.4	20.1	6.1	1.3
I C	25.8	41.2	24.8	8.9	27.8	24.1	4.3	1.1
映像機器	58.8	132.4	134.5	122.5	121.0			
映像記録・再生機器	▲0.5	63.1	58.3	39.2	40.8	31.6	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	7.7	▲16.9	▲35.4	▲8.3	7.9	▲15.4	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	4.3	10.2	14.2	13.2	15.6	16.0	2.5	0.4
輸送用機器	▲5.3	3.4	14.6	30.8	75.0	61.4	19.8	9.4
自動車	▲7.9	0.4	13.7	39.3	122.3	81.0	13.5	7.5
自動車の部分品	0.5	1.8	0.8	13.3	12.4	24.5	4.1	1.0
その他	19.5	27.6	30.8	31.5	34.8	29.7	15.0	4.3
科学光学機器	▲2.4	12.2	22.0	15.0	12.1	18.5	2.8	0.5

米国向け輸出金額 内訳								
	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	13.6	15.7	14.1	33.8	45.3	36.5	100.0	36.5
食料品	31.6	34.9	15.5	1.6	▲1.3	▲11.0	0.8	▲0.1
原料品	77.3	26.8	0.4	17.5	15.6	22.0	0.7	0.2
鉱物性燃料	1455.2	659.8	104.9	115.1	37.2	419.7	1.2	1.4
化学製品	49.4	58.0	18.5	61.0	30.2	20.2	7.7	1.8
原料別製品	37.5	45.4	21.5	40.0	37.6	19.2	6.6	1.5
鉄鋼	24.4	128.1	19.3	118.8	62.5	17.7	1.4	0.3
非鉄金属	78.3	61.5	53.0	85.6	50.3	50.9	0.9	0.4
金属製品	6.7	1.0	4.2	7.9	14.4	8.2	1.4	0.1
一般機械	26.1	19.6	23.9	28.2	30.6	30.6	26.1	8.3
電気機器	1.2	8.6	▲0.3	18.2	27.7	19.6	14.4	3.2
半導体等電子部品	12.5	2.9	8.2	9.6	31.0	9.0	1.3	0.1
I C	25.8	20.2	17.1	14.7	68.5	20.9	0.6	0.1
映像機器	▲23.3	29.9	36.3	28.8	56.6			
映像記録・再生機器	▲19.0	39.3	33.8	14.2	58.5	38.0	0.6	0.2
音響・映像機器の部分品	▲1.6	5.1	▲34.7	▲60.5	▲30.0	▲49.3	0.1	▲0.1
電気回路等の機器	▲3.1	11.9	9.5	19.0	23.3	19.1	1.4	0.3
輸送用機器	▲13.8	0.3	6.8	38.5	92.3	68.5	30.5	16.9
自動車	▲15.6	▲0.7	8.4	34.6	119.2	78.6	22.6	13.6
自動車の部分品	1.0	8.4	▲2.7	44.4	27.2	31.1	5.8	1.9
その他	5.4	2.1	24.1	29.6	25.7	26.0	12.0	3.4
科学光学機器	17.0	16.5	32.3	32.2	27.1	38.9	3.0	1.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.5	22.2	31.7	16.7	33.2	28.1	100.0	28.1
食料品	18.2	27.9	1.7	▲19.1	18.7	▲4.7	0.6	▲0.0
原料品	5.0	27.3	50.7	27.9	7.5	32.4	0.9	0.3
鉱物性燃料	229.3	65.3	192.8	▲61.9	248.5	101.1	1.1	0.7
化学製品	7.2	18.3	32.5	32.5	11.5	11.6	11.6	1.6
原料別製品	61.5	44.4	25.0	▲15.4	36.7	25.9	7.7	2.0
鉄鋼	196.3	116.0	2.9	▲61.3	172.5	30.9	2.2	0.7
非鉄金属	37.2	30.3	67.3	31.4	▲5.7	40.7	0.9	0.3
金属製品	2.6	▲0.8	12.5	1.3	15.2	17.0	1.4	0.3
一般機械	18.4	11.4	27.2	14.0	23.6	17.6	21.9	4.2
電気機器	4.8	15.3	20.4	5.7	14.0	19.8	17.5	3.7
半導体等電子部品	20.3	22.7	18.7	11.7	12.0	27.9	2.3	0.6
I C	33.2	34.4	30.4	10.4	11.9	21.5	0.9	0.2
映像機器	32.6	132.0	143.0	101.4	67.6			
映像記録・再生機器	40.5	122.9	114.1	102.6	43.9	23.4	0.7	0.2
音響・映像機器の部分品	▲6.6	▲23.0	12.9	▲4.5	▲23.3	▲14.3	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	8.9	7.8	22.6	11.5	17.9	16.8	1.7	0.3
輸送用機器	▲10.3	21.1	44.4	37.8	97.8	77.5	23.4	13.1
自動車	▲7.0	34.0	77.0	76.2	194.0	101.7	14.3	9.2
自動車の部分品	1.9	▲7.9	▲2.8	▲9.4	▲6.6	13.0	4.3	0.6
その他	9.5	41.5	36.5	18.6	25.0	14.9	15.3	2.5
科学光学機器	21.3	46.0	54.3	20.2	25.3	33.0	4.5	1.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	17.5	18.8	21.1	18.1	20.6	16.6	100.0	16.6
食料品	17.7	24.1	23.9	19.6	17.5	23.3	1.6	0.4
原料品	16.7	7.3	15.0	8.2	14.8	13.2	2.2	0.3
鉱物性燃料	224.0	158.5	191.2	296.2	98.5	30.6	1.8	0.5
化学製品	11.9	13.0	13.5	6.9	1.6	5.1	14.7	0.8
原料別製品	34.9	28.4	14.9	10.0	5.7	9.5	14.3	1.5
鉄鋼	59.6	35.9	13.4	10.5	▲2.9	5.5	5.7	0.3
非鉄金属	30.9	33.7	19.6	7.9	11.5	13.1	3.8	0.5
金属製品	3.4	8.2	6.3	4.8	8.0	7.4	1.5	0.1
一般機械	5.1	11.4	14.7	12.4	19.6	10.6	17.9	2.0
電気機器	14.3	19.4	16.6	12.9	19.1	16.6	22.9	3.8
半導体等電子部品	21.4	31.0	21.1	8.3	20.4	19.8	10.0	1.9
I C	25.7	41.8	24.7	8.4	26.9	24.2	7.5	1.7
映像機器	171.6	295.6	302.0	285.6	236.7			
映像記録・再生機器	▲1.4	60.0	60.5	47.6	24.7	24.5	0.2	0.1
音響・映像機器の部分品	▲1.4	▲20.7	▲11.1	2.5	14.1	▲15.8	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	4.9	10.0	13.8	12.4	15.8	14.2	3.4	0.5
輸送用機器	▲6.7	▲5.0	30.3	27.4	72.0	48.1	7.6	2.9
自動車	▲14.2	▲17.8	21.0	43.7	164.0	71.6	3.9	1.9
自動車の部分品	3.4	6.0	10.3	9.9	13.1	28.9	3.1	0.8
その他	27.7	31.3	32.1	33.0	33.5	29.5	16.9	4.5
科学光学機器	▲12.9	3.8	12.1	7.5	4.0	8.7	2.9	0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.2	7.4	12.8	13.4	17.1	7.7	100.0	7.7
食料品	28.7	23.2	41.8	38.9	35.4	26.4	1.4	0.3
原料品	16.5	17.7	45.7	35.0	15.5	14.1	2.3	0.3
鉱物性燃料	23.8	180.4	294.0	250.6	65.8	135.3	1.3	0.8
化学製品	10.1	10.4	11.0	4.7	0.1	4.1	17.4	0.7
原料別製品	19.0	11.7	7.9	8.2	3.1	▲0.3	12.1	▲0.0
鉄鋼	21.0	4.2	▲0.1	8.3	▲7.9	2.4	3.4	0.1
非鉄金属	24.1	23.2	14.7	13.1	8.0	▲10.9	3.7	▲0.5
金属製品	5.7	0.7	▲1.6	▲3.4	▲0.2	2.7	1.7	0.0
一般機械	▲10.4	1.1	8.7	8.7	14.8	▲3.0	20.7	▲0.7
電気機器	3.6	15.2	15.6	7.9	16.5	9.6	23.0	2.2
半導体等電子部品	4.1	37.8	21.2	▲13.8	20.1	8.5	7.8	0.7
I C	2.4	51.2	28.6	▲20.6	26.8	13.3	5.7	0.7
映像機器	223.7	406.2	418.0	353.1	279.0			
映像記録・再生機器	▲11.9	51.1	48.8	36.6	▲1.7	▲7.0	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲37.1	▲49.3	▲31.8	▲33.7	▲16.2	▲40.4	0.3	▲0.2
電気回路等の機器	▲4.4	6.9	14.5	13.5	21.1	14.0	3.9	0.5
輸送用機器	▲26.3	▲22.8	5.5	19.6	92.3	34.3	8.3	2.3
自動車	▲36.3	▲23.2	18.2	55.2	336.8	71.8	4.8	2.1
自動車の部分品	▲12.4	▲21.1	▲13.0	▲18.8	▲9.7	3.0	3.3	0.1
その他	▲7.2	12.4	10.6	29.5	20.9	14.5	13.5	1.8
科学光学機器	▲22.9	▲12.5	▲16.5	▲4.7	▲7.8	▲0.3	3.6	▲0.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成